



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 岩崎通信機株式会社

コード番号 6704 URL <http://www.iwatsu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 近藤 恒男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 龍崎 正司

TEL 03-5370-5111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	17,894	△5.5	△597	—	△494	—	△431	—
23年3月期第3四半期	18,939	2.7	△967	—	△844	—	△1,148	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 △549百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 △1,342百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	△4.28	—
23年3月期第3四半期	△11.42	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	25,899	16,760	64.2
23年3月期	27,841	17,561	62.6

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 16,638百万円 23年3月期 17,435百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	2.50	2.50
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	26,000	△3.1	△300	—	△300	—	△300	—	△2.98

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 一社 (社名) 、 除外 1社 (社名) 岩通アメリカ株式会社
(注)詳細は、【添付資料】P.4「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	100,803,447 株	23年3月期	100,803,447 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	300,690 株	23年3月期	296,035 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	100,505,031 株	23年3月期3Q	100,515,366 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、【添付資料】P.2「当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(5) セグメント情報等	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間(平成23年4月1日から平成23年12月31日まで)におけるわが国経済は、東日本大震災及び原発事故の影響を受けた経済活動は緩やかな回復基調が見られましたものの、円相場の高止まり、タイの洪水によるサプライチェーンへの影響、欧州の債務危機を中心とする世界経済の減速基調等、依然として先行きの不透明な状況が続いています。

このような企業環境の中、当社グループでは、平成22年9月に策定しました平成25年3月期を最終年度とする中期経営計画「Challenge & Innovation 2012」の基本方針に沿って、「挑戦」と「改革」による成長戦略に鋭意取り組んでいます。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、第2四半期に引き続き、主力の情報通信分野において、震災からの復興需要や流通在庫積み増し需要の影響もあり一部商品は売上が増加しましたが、北米販売子会社を前年度末に事業譲渡したことや特定顧客向け計測システムの納入が前年度で終了したことの影響により、全体では178億9千4百万円で前年同期比5.5%の減収となりました。利益面につきましては、売上高は減少しましたが、原価率の改善と販管費の削減等により、営業損失5億9千7百万円(前年同期9億6千7百万円の損失)、経常損失4億9千4百万円(前年同期8億4千4百万円の損失)、四半期純損失4億3千1百万円(前年同期11億4千8百万円の損失)とそれぞれ改善しました。

セグメント別事業の概況は次のとおりであります。

[情報通信事業]

情報通信事業の売上高は105億1千6百万円で前年同期比7.1%の増収となり、セグメント損益(営業損益)は6億3千9百万円の利益(前年同期3億7千3百万円の損失)となりました。主力の中小事業所向けビジネスホンは、流通在庫積み増し需要および新商品投入や新ルート開拓の効果もあり、売上高は大幅な増収となり、また、利益面でも黒字に転換しました。

[ITNS(ITネットワークソリューション)事業]

ITNS事業の売上高は17億7千4百万円で前年同期比5.7%の増収となり、セグメント損益(営業損益)は3千7百万円の利益(前年同期2千万円の損失)となりました。コールセンタ構築支援及びネットワーク関連は、大型案件は減少しましたが確実な受注の確保等により、売上高は増収となり、利益面でも黒字に転換しました。

[計測事業]

計測事業の売上高は13億8千万円で前年同期比46.6%の減収となり、セグメント損益(営業損益)は2億2百万円の損失(前年同期4千4百万円の利益)となりました。カーブトレーサ等のパワーエレクトロニクス関連製品の売上は若干増加しましたが、前年度で特定顧客向け計測システムの大型案件が終了したことと基本測定器の売上減により、売上高は大幅に減少し、利益面では利益から損失に悪化しました。

[製版事業]

製版事業の売上高は30億7千4百万円で前年同期比13.0%の減収となり、セグメント損益(営業損益)は2億2千4百万円の利益(前年同期5億1千2百万円の利益)となりました。海外向けは円高影響により機器・消耗品ともに減少し、また国内向けも市況低迷とユーザーの在庫調整の影響を受け、売上高は減少しました。

[その他]

その他は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンポーネント事業等を含んでおります。その売上高は11億4千7百万円で前年同期比13.2%の減収であり、また、新規分野への開発投資が本格化したため、セグメント損益(営業損益)は3億1千8百万円の損失(前年同期2億3千3百万円の損失)となりました。

(2) 連結業績予想に関する定性的情報

わが国の経済は、震災影響から着実に回復基調にはなっているものの、世界的な金融不安、円の高止まり、さらにはタイの洪水による生産面への影響等もあり、当面は厳しい経営環境が続くものと思われ
ます。

当社グループでは、引き続き中期経営計画「Challenge & Innovation 2012」に沿って、成長分野への経営資源の重点配分及び製造コスト削減と諸経費圧縮等を推進してまいります。当第3四半期連結累計期間においても一部商品において需要増の基調で推移しましたが、第4四半期も景気と市場環境の変動を常に注視し、新規需要の発掘と売上高の確保に努めてまいります。また、タイの洪水による影響は、部品の需給バランスの調整、代替部品の検討・調達を推進したことにより、部材コストは悪化しましたが、生産に関しては若干の影響にとどまる見込みです。

このような状況を踏まえ、平成24年3月期の連結業績につきましては、平成23年11月11日に公表しました通期業績予想を修正していませんが、当第3四半期連結決算及び今後の見通し等を総合的に判断いたしました結果、誠に遺憾ではございますが、期末配当を見送らせていただくことといたしました。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

岩通アメリカ株は、解散の決議を行い営業活動を停止したことにより重要性が乏しくなったため、第1四半期連結会計期間より連結の範囲から除外しています。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,790	8,835
受取手形及び売掛金	6,045	4,349
有価証券	998	1,999
商品及び製品	1,344	1,453
仕掛品	576	873
原材料及び貯蔵品	1,445	1,771
その他	722	287
貸倒引当金	△92	△71
流動資産合計	20,831	19,497
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,008	1,907
その他(純額)	1,859	1,686
有形固定資産合計	3,867	3,593
無形固定資産		
のれん	186	145
ソフトウェア	876	840
その他	61	56
無形固定資産合計	1,124	1,043
投資その他の資産		
投資有価証券	1,425	1,240
その他	769	719
貸倒引当金	△177	△195
投資その他の資産合計	2,017	1,764
固定資産合計	7,010	6,402
資産合計	27,841	25,899
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,841	1,689
短期借入金	160	93
未払法人税等	137	30
賞与引当金	662	339
役員賞与引当金	34	8
製品保証引当金	224	269
その他	1,768	1,498
流動負債合計	4,828	3,929
固定負債		
長期借入金	84	70

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
繰延税金負債	1,289	1,179
退職給付引当金	3,180	3,188
その他	897	771
固定負債合計	5,450	5,209
負債合計	10,279	9,139
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,025	6,025
資本剰余金	6,942	6,942
利益剰余金	5,199	4,240
自己株式	△48	△48
株主資本合計	18,118	17,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△34	△106
為替換算調整勘定	△648	△413
その他の包括利益累計額合計	△683	△519
少数株主持分	126	121
純資産合計	17,561	16,760
負債純資産合計	27,841	25,899

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	18,939	17,894
売上原価	11,634	10,677
売上総利益	7,305	7,216
販売費及び一般管理費	8,272	7,814
営業損失(△)	△967	△597
営業外収益		
受取利息	4	10
受取配当金	25	27
持分法による投資利益	44	33
その他	112	107
営業外収益合計	186	178
営業外費用		
支払利息	9	6
貸倒引当金繰入額	—	21
不動産賃貸費用	21	25
為替差損	12	—
その他	19	22
営業外費用合計	63	76
経常損失(△)	△844	△494
特別利益		
貸倒引当金戻入額	35	—
受取和解金	41	—
退職給付制度終了益	—	122
その他	0	—
特別利益合計	77	122
特別損失		
固定資産除却損	205	—
投資有価証券売却損	—	3
災害による損失	—	57
特別退職金	—	25
その他	108	—
特別損失合計	313	86
税金等調整前四半期純損失(△)	△1,080	△458
法人税、住民税及び事業税	68	54
法人税等調整額	4	△77
法人税等合計	72	△23
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,153	△435
少数株主損失(△)	△5	△4
四半期純損失(△)	△1,148	△431

四半期連結包括利益計算書

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△1,153	△435
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△62	△71
為替換算調整勘定	△126	△42
その他の包括利益合計	△189	△113
四半期包括利益	△1,342	△549
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,337	△545
少数株主に係る四半期包括利益	△5	△4

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動がありません。

(5) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注3)
	情報通信	I T N S	計測	製版			
売上高							
外部顧客への売上高	9,818	1,677	2,584	3,536	1,322	—	18,939
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	9,818	1,677	2,584	3,536	1,322	—	18,939
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	△373	△20	44	512	△233	△896	△967

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンポーネント事業等を含んでいます。

2. セグメント損益の調整額△896百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△896百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っています。

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注1)	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額(注3)
	情報通信	I T N S	計測	製版			
売上高							
外部顧客への売上高	10,516	1,774	1,380	3,074	1,147	—	17,894
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	10,516	1,774	1,380	3,074	1,147	—	17,894
セグメント利益又はセグメント 損失(△)	639	37	△202	224	△318	△978	△597

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、コンポーネント事業等を含んでいます。

2. セグメント損益の調整額△978百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△978百万円が含まれています。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。

3. セグメント損益は、四半期連結損益計算書の営業損益と調整を行っています。